

### 3 普及啓発活動

#### (1) 普及啓発活動概要

当センター主催事業としては、速報展の関連企画として平成30年度の発掘調査成果を紹介した遺跡調査報告会、本市の縄文時代から中世までの通史を扱った歴史講座を開催した。史遊館を主体とした歴史体験学習事業としては、まが玉づくりなどの通常体験のほか、募集型の歴史体験学習を開催した。特に通常体験は、市内や近隣自治体の小中学校への積極的なPRにより、家族連れの来館者や学校現場で取りあげられる機会が増加した。

また依頼対応事業としては、二市三町連携行事「春日パーキングまつり」「親子でチャレンジ 縄文土器づくり」等、他機関と連携を図った館外での活動が盛況であった。さらに、地元の歴史を紹介する講座等への協力や、宮城県考古学会、古代城柵官衙遺跡検討会からの依頼による発掘調査成果報告を行った。



小学校での出前授業の様子

#### 平成31年度の主な歴史体験学習

6月8日	網代網みコースター	主催
7月6日	二市三町縄文土器づくり(成形)	主催
7月27日	春日PAまつり	依頼対応
8月3日	二市三町縄文土器づくり(焼成)	依頼対応
11月1, 2, 3, 4日	文化財保護強調週間(まが玉)	依頼対応
11月16日	大人のための紫草染め体験	主催
12月14日	文化センターこどもまつり —まが玉、らでん—	依頼対応
12月26日	お正月の準備 —親子でつくる鏡餅—	主催
2月22日	大人のための貝雛づくり	主催



文化センターまつりの様子

#### (2) 歴史学習

多賀城市埋蔵文化財調査センター体験館(多賀城史遊館)の利用状況は以下の通りである。

史遊館を主体とした歴史学習事業については、通常体験としてまが玉づくり、縄文カゴづくり、貝絵付け、横笛づくり、らでんマグネットづくり、火おこし体験、拓本体験、貝合わせ、かるた、ぬりえを実施した。また、募集型歴史体験学習として、網代編みコースターづくり、紫草染め体験、鏡餅づくり、貝雛づくりを開催した。そのほか、小中学校からの要望に応じて、出前講座等へも随時対応した。

平成31年度の史遊館利用者数は総数5,064名であり、1日あたりの平均人数は約20名であった。特に団体による体験学習や研修授業が多い月の利用者数が突出した結果となった。

#### 平成31年度多賀城市埋蔵文化財調査センター体験館(多賀城史遊館)利用状況

月	開館 日数	利用総数						利用内訳			
		一般		高校		小中		計	展示 見学	研修 授業	体験 学習
		館内	館外	館内	館外	館内	館外				
4月	26	47	0	0	0	69	0	116	88	28	0
5月	27	95	28	0	0	79	0	202	195	7	0
6月	26	115	31	0	2	641	47	836	653	0	183
7月	26	80	160	0	0	215	398	853	851	2	0
8月	27	152	22	0	0	119	22	315	307	8	0
9月	25	68	430	0	0	64	427	989	979	10	0
10月	26	117	119	0	0	458	189	883	883	0	0
11月	26	114	78	0	0	70	78	340	340	0	0
12月	23	52	4	0	0	108	37	201	201	0	0
1月	23	27	0	0	0	66	0	93	93	0	0
2月	25	50	11	0	0	174	0	235	235	0	0
3月	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
合計	281	1,801		2		3,261		5,064	4,826	55	183

平成 31 年度多賀城市埋蔵文化財調査センター体験館（多賀城史遊館）歴史学習実績

月	いつでも体験（有料）												いつでも体験（無料）												イベント等体験			
	まが玉(小) 100円		まが玉(大) 200円		縄文カゴ 200円		貝殻付け 200円		横笛 400円		らでん 100円		計	火おこし		拓本	貝合わせ	かるた	ぬりえ	計					イベント・体験名		館内	館外
	館内	館外	館内	館外	館内	館外	館内	館外	館内	館外	館内	館外		館内	館外													
4月	26	0	8	0	7	0	0	0	2	0	11	0	54	54	0	15	0	0	5	0	2	22	22	0				
5月	2	0	25	28	5	0	0	0	3	0	10	0	74	46	28	26	0	0	15	0	5	46	46	0				
6月	201	80	32	68	12	0	6	0	15	0	33	0	447	299	216	51	0	0	27	9	19	106	106	0	網代編みコースター	0	0	
7月	89	0	9	0	12	110	11	0	11	0	25	0	267	157	110	11	0	0	27	20	10	68	68	0	二市三町縄文土器づくり(成形)	0	16	
8月	29	0	13	0	12	0	4	0	11	0	30	0	99	99	0	18	0	0	21	6	4	49	49	0	春日PAまつり	0	101	
9月	27	280	14	0	5	291	2	0	2	0	13	0	634	63	571	3	0	0	6	4	4	17	17	0	二市三町縄文土器づくり(焼成)	0	44	
10月	33	258	10	0	11	0	2	0	20	0	27	0	361	103	258	37	40	0	8	2	9	96	56	40				
11月	20	156	16	0	5	0	2	0	0	0	11	0	210	54	156	1	0	0	14	4	0	19	19	0	祭典染め	10		
12月	10	20	15	0	0	0	0	0	13	0	30		88	68	20	16	0	0	15	8	5	44	44	0	縄餅づくり	12		
1月	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	10	10	0	1	0	0	5	0	0	6	6	0				
2月	4	11	6	0	5	0	4	0	3	0	9	0	42	31	11	9	0	0	10	2	4	25	25	0	貝簪づくり	13	0	
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
小計	447	805	150	96	74	401	32	0	80	0	201	0	2,286	984	1,370	188	40	0	153	55	62	498	458	40			35	161
合計	1,252		246		475		32		80		201		2,286	1,968	2,740	228	0	153	55	62	498						196	

(3) 遺跡調査報告会

名 称：多賀城市遺跡調査報告会－平成 30 年度の調査成果－

開催日：令和元年 6 月 29 日（土） 午後 1 時半から午後 3 時半

会 場：市民活動サポートセンター大会議室

参加人数：55 人

当センターが実施した山王遺跡第 178 ～ 198 次調査、市川橋遺跡第 96 次調査、八幡館跡第 10 ～ 13 次調査の成果報告ならびに、多賀城市内遺跡発掘調査 100 周年を記念した発掘調査学史の紹介を行った。



遺跡調査報告会の様子

(4) 歴史講座

名 称：平成 31 年度 史都多賀城 歴史講座

受講者数：54 人（延べ 138 人）

郷土の歴史・文化への関心を深め、文化財保護の思想を啓発することを目的として、縄文時代から戦国時代までの多賀城の歴史を取り上げた通史的内容の講座を 4 回にわたり開催した。

	開催日時	開催場所	題名	講師
第 1 回	10月24日（木） 14：00～15:30	中央公民館 第 4 会議室	縄文～弥生時代の多賀城と東北地方	埋蔵文化財調査センター 技師 佐藤純平
第 2 回	10月31日（木） 14:00～15:30	中央公民館 第 4 会議室	古墳～奈良時代の多賀城と東北地方	埋蔵文化財調査センター 主査 丹野修太
第 3 回	11月7日（木） 14:00～15:30	中央公民館 第 4 会議室	平安～鎌倉時代の多賀城と東北地方	埋蔵文化財調査センター 技師 小原駿平
第 4 回	11月14日（木） 14:00～15:30	中央公民館 第 4 会議室	室町～戦国時代の多賀城と東北地方	埋蔵文化財調査センター 主査 大木丈夫

(5) 刊行物

多賀城市埋蔵文化財調査センター年報－平成 30 年度－

多賀城市文化財調査報告書第 144 集 多賀城市内の遺跡 2－平成 30 年度ほか発掘調査報告書－

新田遺跡 高崎遺跡 山王遺跡 市川橋遺跡 安楽寺遺跡 八幡沖遺跡隣接地

多賀城市文化財調査報告書第 145 集 山王遺跡ほか

山王遺跡 206 次調査 山王遺跡 211 次調査 山王遺跡第 213 次調査 大日南遺跡第 15 次調査

## (6) 講演会等への参加

開催日	題目	事業の名称	主催団体
令和元年5月8日	多賀城の歴史について		笠の会
令和元年7月30日	多賀城の歴史について		宮城県年金協会仙台東支部 多賀城地区会
令和元年7月30日	歌枕と多賀城	多賀城歴史トーク	多賀城市立図書館
令和元年9月14日	ブラサンノウ	山王歴史講座	山王地区公民館
令和元年11月27日	地域の史跡について	社会教育事業	大代地区コミュニティ推進協議会
令和2年2月7日	多賀城の歴史について		新田中区老壮学級

## (7) 研究発表、執筆など

題目・誌名	依頼団体
「東北地方における縄文時代葬制研究の現状」「宮城県における縄文時代葬制の諸様相」「考古学・人類学・文化財科学の学際的研究による縄文社会論の再構築」	科研費「考古学・人類学・文化財科学の学際的研究による縄文社会論の再構築」研究会(研究代表者：山田康弘(国立歴史民俗博物館))
「山王遺跡第178・198次・211次調査・市川橋遺跡第96次調査」 『令和元年度宮城県遺跡調査成果発表会資料』	宮城県考古学会
「山王遺跡第178・198次調査」 『第46回 古代城柵官衙遺跡検討会－資料集－』	古代城柵官衙遺跡検討会
「名勝おくのほそ道の風景地「壺碑（つぼの石ぶみ）・興井・末の松山」保存活用計画について」 『平成30年度 遺跡整備・活用研究会報告書 史跡等の保存活用計画－歴史の重層性と価値の多様性－』	独立行政法人国立文化機構 奈良文化財研究所

## 4 資料管理

### (1) 資料の貸出及び掲載

依頼機関等	依頼（貸出理由）	貸出期間	資料名
東北歴史博物館	総合展示室中世の展示に利用するため	H31. 4. 1 ～R2. 3. 31	新田遺跡出土資料 天目茶碗、かわらけ（在地系）、かわらけ（京都系） 折敷、漆器、下駄、草履、小柄、轡 各1点
株式会社吉川弘文館	『新しい古代史へ 2 文字文化のひろがり』への掲載のため		国守館主屋復元図 1点 山王遺跡千刈田地区出土題箋軸木簡写真 1点 題箋軸の使用方法再現写真 1点 漆を入れた曲げ物容器とふた紙（復元）写真 1点
株式会社汲古書院	『中世南奥羽の地域諸相』への掲載のため		青木助六宛父子連署書状写真（天章家文書） 1点
福島県立博物館	企画展「どうぶつの考古学」における展示のため。また解説図録、ホームページへの掲載のため	R1. 8. 30 ～11. 20	永根貝塚出土鹿角製装身具 9点
七ヶ浜町教育委員会	『わたしたちの七ヶ浜町』への掲載のため		古代の堅穴建物跡写真 1点
個人	『研究連絡誌』（（公財）千葉県振興財団機関誌）への掲載のため		市川橋遺跡27次調査出土ナイフ形石器実測図 1点
（公財）福島市振興公社	企画展「松代地区の古代」で展示するため	R1. 11. 14 ～R2. 2. 17	市川橋遺跡7次調査出土須恵器長頸壺 1点
株式会社吉川弘文館	『新しい古代史へ 3 交通・情報となりわい』への掲載のため		市川橋遺跡出土「私馬」木簡、絵馬写真 2点
宮城県多賀城跡調査研究所	多賀城跡調査研究所設立50周年記念企画多賀城講座で使用するため	R1. 11. 23	柏木遺跡遺構写真 6点
（公財）福島県文化振興財団	企画展「ふくしま鉄ものがたり」の解説パネルに掲載するため		柏木遺跡遺構写真 2点 柏木遺跡復元イラスト 1点
宮城県教育委員会	「令和元年度宮城の発掘調査パネル揭示及びパンフレット掲載のため	R2. 1. 15 ～4. 3	山王遺跡発掘調査写真 8点 山王遺跡図面 1点 市川橋遺跡発掘調査写真 5点 市川橋遺跡図面 1点
宮城県多賀城跡調査研究所	シンポジウム「鉄の道をたどる」における発表で使用するため	R2. 3. 8	柏木遺跡遺構写真 12点
宮城県多賀城跡調査研究所	宮城県多賀城跡調査研究所設立50周年記念誌『多賀城跡－発掘調査のあゆみ2020－』に掲載するため		刀子写真 1点 山王遺跡出土漆紙文書（百済王）写真 1点 山王遺跡千刈田地区出土題箋軸木簡写真 1点 山王遺跡出土墨書土器（観音寺）写真 1点 高崎遺跡遺物出土状況（万灯会）写真 1点 建前遺跡航空写真 1点 国守館復元図 1点 市川橋遺跡遺構写真 2点 市川橋遺跡航空写真 2点

### (2) 資料調査の受入

年月日	調査機関	目的	調査対象資料
令和元年6月1日	個人	論文執筆のため	市川橋遺跡第27次調査出土ナイフ形石器 1点
令和元年9月10日	宮城県多賀城跡調査研究所	報告書『多賀城跡施釉陶器』刊行にあたり多賀城跡と城外出土資料の比較を行うため	山王遺跡出土緑釉・灰釉陶器76点 市川橋遺跡出土緑釉・灰釉陶器 18点 西沢遺跡出土灰釉陶器 1点 高崎遺跡出土施釉陶磁器 6点

### (3) 収集（寄贈）資料

資料名	品目	数量	寄託・寄贈元	年代	法量(縦×横 cm)
民俗資料	掛軸	2	大代山の神講		
古文書	御観音講名簿	1	大代山の神講		
民俗資料	鼓	1	個人		

### (4) 出土資料の保存処理

木製品については、ほ場整備事業に伴う発掘調査で出土した木製品について、リース契約により借り上げている PEG 含浸装置を用いて、保存処理を施した。まず EDTA を用いた脱色処理を行ったのち、50% の PEG 溶液に資料を浸し、徐々に濃度を上昇させ、製品中に含まれる水分と PEG を置換した。

鉄製品については国庫補助事業による保存処理を一時的に休止したことから、本年度は保存処理を実施しなかった。

当センターではこれまでも市内遺跡で出土した木・鉄製品等脆弱遺物の保存処理を継続的に行っており、特に木製品については年代の特定できる全国的にも貴重な資料を数多く収蔵している。

一方でこれら脆弱遺物の保管環境は決して良好ではない。当センターは山王・市川橋遺跡等から出土した木質遺物を多数有しており、今後も資料数は増加するものとみられる。また、考古資料のみならず一部に重要な古文書・民俗資料等も保管されていることから、埋蔵文化財緊急調査と普及啓発等の事業を優先する余り文化財の保管・管理や保存環境悪化を招くことがないよう、センター全体で保存環境整備に努めていく必要がある。

### (5) 埋蔵文化財保存活用整備事業

平成 29 年度に調査資料デジタル化事業でスキャニングした写真フィルムなどの基礎整理を行った。

## 5 事務報告

### (1) 埋蔵文化財調査センター大規模改修工事

当センターは、開館から 30 年以上が経過したことから、公共施設等総合管理計画に基づき、経年劣化した施設の改修工事を実施した。平成 31 年度は、1 階収蔵庫、2 階収蔵庫、2 階常設展示室、空調設備、電気設備等の改修工事を行った。そのため、種々制約が生じ、常設展示を閉鎖し、企画展開催を中止せざる得なかった。令和 2 年度も改修工事を行う予定である。

また、埋蔵文化財調査センター体験館のエレベーターの改修工事も実施した。

#### ○工事内容

#### ・埋蔵文化財調査センター

1 階 一般収蔵庫 既設鋼製棚の一部を書棚に改修

器具庫・第一整理室 棚足場の設置

第一整理室 壁面塗装の塗替

中 2 階 特別収蔵庫 木製棚一部撤去及び木製スノコ床のケイカル板養生の追加。

2 階 常設展示室 受付カウンターの設置、展示室入口扉の改修

#### 電気設備工事

2 階収蔵展示室 出入口照明 LED 更新

映像設備更新

展示室呼出設備工事

3階収蔵展示室 照明設備 撤去・新設  
 非常放送設備 撤去・新設  
 自動火災報知設備 撤去・新設

#### 機械設備工事

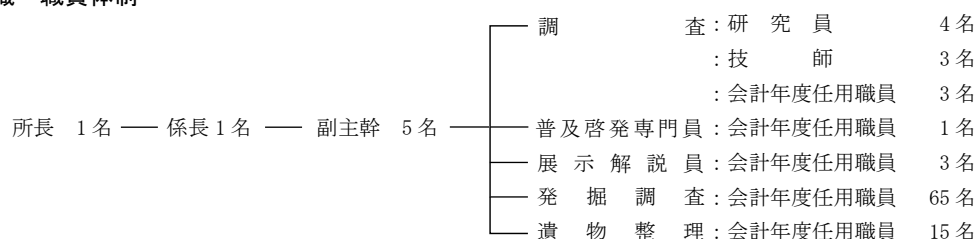
1階 特別収蔵庫 全熱交換型換気扇更新  
 3階 収蔵展示室 天井内ダクト 移設  
 天井面ダクト吹出口 移設  
 各所 既設ダクト 改造

・多賀城市埋蔵文化財調査センター体験館（多賀城史遊館）  
 エレベータ改修工事

### （２）平成 31 年度事業費（内訳）

事業名	支出額 (円)	内 容
開発協議調整事業	274,635	埋蔵文化財の取り扱いに係る事務事業費
出土品等整理保存（市単独）	480,762	市内遺跡出土木製品・金属製品保存処理費
出土品等整理保存（国庫補助）	0	市内遺跡出土木製品・金属製品保存処理費・補助関係庶務事務費
埋蔵文化財緊急調査事業（市単独）	1,166,802	試掘・確認調査 公共事業・小規模開発関係調査費
埋蔵文化財緊急調査事業（国庫補助）	20,894,768	市内遺跡発掘調査費
埋蔵文化財受託事業	15,958,877	民間の開発行為に伴う市内遺跡発掘調査費
埋蔵文化財受託事業（ほ場整備）	91,460,069	ほ場整備事業に伴う市内発掘遺跡調査費
埋蔵文化財緊急調査事業（復興交付金）	27,214,831	東日本大震災に伴う市内遺跡発掘調査費
収蔵資料整理保存事業	519,613	年報・報告書（市単独）作成 書籍管理・データ入力
展示・報告会等開催事業	1,919,907	速報展・資料展等の開催 報告会・講演会等開催
埋蔵文化財調査センター体験館 管理運営費	4,043,833	体験館の施設維持・管理費
埋蔵文化財保存活用整備事業	382,786	収納写真等整理
歴史講座開催事業	26,802	史都多賀城歴史講座開催
埋蔵文化財調査センター改修事業	49,599,920	埋蔵文化財調査センター大規模改修
埋蔵文化財調査センター体験館改修事業	3,520,000	埋蔵文化財調査センター体験館エレベーター改修
埋蔵文化財調査センター庶務事務	21,785,176	埋蔵文化財調査センター運営費
全国公立埋蔵文化財センター 連絡協議会推進事業	235,040	総会・研修会等参加費
合計	239,483,821	

### （３）組織・職員体制



（令和 2 年 12 月現在）